



## Management Center データベースの消去

以下のトピックでは、Management Center から検出データを消去する方法を示します。

- [Management Center データベースからのデータの消去 \(1 ページ\)](#)

## Management Center データベースからのデータの消去

スマート ライセンス	従来のライセンス	サポートされるドメイン	アクセス (Access)
任意 (Any)	任意 (Any)	グローバルだけ	Admin/Security Analyst

データベース消去ページを使用すると、検出、アイデンティティ、接続、およびセキュリティインテリジェンスのデータ ファイルを Management Center データベースから消去できます。データベースを消去すると、該当するプロセスが再起動される点に注意してください。



**注意** データベースを消去すると、Firepower Management Center から指定したデータが削除されます。削除されたデータは復元できません。

### 手順

**ステップ 1** [システム (System) ] > [ツール (Tools) ] > [データの削除 (Data Purge) ] を選択します。

**ステップ 2** [ネットワーク検出 (Network Discovery) ] で、次のいずれかまたはすべてを実行します。

- [ネットワーク検出イベント (Network Discovery Events) ] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのネットワーク検出イベントを削除します。
- [ホスト (Hosts) ] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのホストとホストの侵害の兆候フラグを削除します。
- [ユーザ アクティビティ (User Activity) ] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのユーザ アクティビティ イベントを削除します。

- [ユーザアイデンティティ (User Identities) ]チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのユーザログインとユーザ履歴データ、およびユーザの侵害の兆候フラグを削除します。

**ステップ3** [接続 (Connections) ]で、次のいずれかまたはすべてを実行します。

- [接続イベント (Connection Events) ]チェックボックスをオンにして、データベースからすべての接続データを削除します。
- [接続の概要イベント (Connection Summary Events) ]チェックボックスをオンにして、データベースからすべての接続の概要データを削除します。
- [セキュリティ インテリジェンス イベント (Security Intelligence Events) ]チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのセキュリティ インテリジェンス データを削除します。

(注) [接続イベント (Connection Events) ]チェックボックスをオンにしても、セキュリティ インテリジェンス イベントは削除されません。セキュリティ インテリジェンス データとの接続は、セキュリティ インテリジェンス イベント ビューアに引き続き表示されます。同様に、[セキュリティ インテリジェンス イベント (Security Intelligence Events) ]チェックボックスをオンにしても、セキュリティ インテリジェンス データに関連する接続イベントは削除されません。

**ステップ4** [選択したイベントの消去 (Purge Selected Events) ]をクリックします。項目が消去され、該当するプロセスが再起動されます。

---